

2007年4月18日

報道関係者各位

株式会社アパマンショップホールディングス

**アパマンショップ、賃貸業務に関わる情報を一元管理、
アパマンショップトータルシステム(ATS)の運用を開始
～自宅にいながら、実際の店舗と同様のお部屋探しも可能に～**

株式会社アパマンショップホールディングス(東京都中央区・代表取締役社長 大村 浩次 証券コード 8889)の100%子会社である株式会社アパマンショップネットワーク(東京都中央区・代表取締役社長 川森 敬史)は、2007年12月をめどに入居者斡旋、管理業務、周辺サービスまでをトータルサポートするアパマンショップトータルシステム(以下:ATS)の運用を開始します。導入後は、順次全国展開を図ってまいります。

ATSは、入居者・不動産オーナー・物件・周辺サービスといった幅広い賃貸業務に関わる情報を一元化し、それをプラットフォームとして各業務間での正確かつリアルタイムな情報共有をベースとした新たなビジネスモデルの総称です。

今回のリリースでは、すでに370店舗超導入している賃貸斡旋業務の支援システム「アパマンショップオペレーションシステム(AOS)」に加え、不動産オーナーや入居者の情報、物件収支、入居率などの対応履歴などプロパティマネジメント業務全般をサポートする「アパマンショップ賃貸管理システム(APS)」を新たに開発し、「アパマンショップ」フランチャイズ加盟店の管理業務をシステム面からバックアップします。また、管理物件の受託営業を支援するレポート機能や、不動産オーナーが送金明細や物件収支のみならず、募集状況等をリアルタイムに確認できる専用ポータルサイトのオープンも予定しており、管理拡大をサポートするシステムとなります。

さらに、ATSではシステム間のデータベース一元化の強みを活かし、自宅にいながら実際の店舗と同様のお部屋探しができる「Web来店サービス」も実現します。また、オンライン受発注機能の整備および関連企業とのアライアンスにより、入居者が引越をする際に必要な引越業者の選定や住宅総合保険(共済)などの申込や手配も「アパマンショップ」フランチャイズ加盟店にてワンストップですが可能となります。

アパマンショップグループでは、賃貸業務に関わるデータベース一元化をさらに推進しその情報を複合的に活用することで、「アパマンショップ」フランチャイズ加盟店をはじめ、お客様・不動産オーナー双方の利便性を図り、顧客満足度向上に努めてまいります。

以上

ATS 構成要素

1. アパマンショップオペレーションシステム(AOS)
2. アパマンショッププロパティマネジメントシステム(APS)
3. 不動産オーナーポータル・入居者ポータル
4. 物件詳細公開機能
5. Web 来店サービス機能
6. 引越手続き便利機能(周辺ビジネスサポート機能)
7. 提携企業・パートナー企業との情報連携

不動産オーナーポータルサイトイメージ画像



上記は、開発中の画像となります。